

2011年度協定校留学近況報告書

記入日	2011年 11月 4日
留学先大学	アイオワ大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）：ビジネス，（現地言語での名称）：College of Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他：
留学期間	2011年8月－1012 年5月
明治大学での所属	経営学部経営学科グローバルマーケティング専攻 / _____研究科_____専攻
学年(出発時本学での学年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

まず facebook の登録を済ませ、現地の気候についてなどを現地のスタッフに聞いたりしました。アイオワでの生活については、日本語で調べようとするとネット上の情報が非常に少ないので、英語で調べるか僕ら留学経験者に聞いたりすることをお勧めします。

英語の能力も非常に大切です。出発時に TOEFL80 点くらいの実力ですと、授業でも私生活でも非常に苦しむことになります。英語力だけでなく、現地の文化・習慣を予習することで、渡米直後のカルチャーショックに備えることも大切です。旅行と留学は全く異なるものだということを認識することも大切だと思います。銀行口座の開き方、どのタイプの口座が自分に合っているのか、ATM での預金の仕方、自転車の交通ルール、授業パーティシペーションのコツ、クレジットカードでのチップの払い方、等々事前に知っておくと良いことは山ほどあります。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：J1	申請先：アメリカ大使館
ビザ取得所要日数：5日 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用：

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

全て自分で行いました。添付の資料をご覧ください。

具体的な申し込み手順を教えてください。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

誰が授業料を払うのか。いつ渡米するのか。

ビザ取得に関して困った点・注意点

アポイントメントをとるのが遅かったことです。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

DS2019 と V I S A だけは絶対に忘れないでください。携帯電話に関しては、こちらでウォルマートなどで簡単に買うことができるので、日本で無理にレンタルする必要はないと思います。

Ⅲ. 現地到着後のなぐれ					
1. 到着時の様子					
利用航空会社	デルタ				
航空券手配方法	ピコツアーという旅行会社にお願ひしました。ただ、「エクスぺディア」という素晴らしいサーチエンジンがあるので、それで自分でとるのも良いと思います。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	シダーラピッズ	現地到着時刻	18:40		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	初日はアイオワシティのハートランドインというホテルに泊まりました。シダーラピッズから、アイオワシティまでは40分ほどでした。				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等					
シャトルを空港で手配してもらおうと安く済みます。20ドルほどでした。 留学生向けのオリエンテーションが始まるのが公式な寮チェックイン時期よりも1週間早いので、注意しなければなりません。					
大学到着日	8月13日10時頃				
2. 住居について					
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他 ()		
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋	<input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()		
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他 ()		
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他 ()		
住居の申込み手順	渡米の数か月前に、国際教育事務室を通して申し込みました。				
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?					
トラブルはありませんでした。到着後はとにかくまず、メイフラワーで学生IDを入手してください。IDがないと色々なことができません。					
3. 留学先でのオリエンテーションについて					
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
日程	8月14日から一週間。				
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加				
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料 (金額:)				
内容の様子は?	how to adapt to American culture など、いかにも留学生向けなものから、大学の規則など、参加必須の包括的な内容のものもありました。				
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
授業開始日	8月22日から				

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

特になし。

2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

予防接種を受けた経歴のヘルスリコードを日本に忘れました。この手続きをパスしないと、授業履修ができませんので、気を付けてください。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

はい。VISAが必要でした。「10日以内にカードが届きます」と言われましたが、3週間経っても届かなかったので、問い合わせをしました。その後1週間待っても届かないので、直接銀行のオフィスに行ったところ、銀行員さんが僕の個人情報の入力ミスをしていたことが判明しました。もう信用ならなかったので、次の日に直接カードをとりに来るから、郵送はしなくて良いという旨を伝え、次の日無事カードを手にすることができました。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

いいえ。明治大学紹介のピクセルワイアレスからレンタルしました。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（ 月 日頃）

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他（ ）

到着後に（8月17日頃）

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他（英語の試験を受験後、その結果をもとにアドバイザーと相談しながら決める。）

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

prerequisiteが求められる科目も、交渉と説明次第で履修可能でした。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

できるはずですが、むしろ、どんどん難しい科目を勧めてこられたので、断ったほどです。

2. 履修単位数

一学期の登録単位数・科目数を教えてください。

5科目 13単位

多すぎた ちょうど良い 少なすぎた

留学先大学の学生は週平均何科目とるのが一般的ですか？ 5科目/週（ 時間）ぐらい

3. 授業内容

現在までに受講している授業はどのように授業が進められていますか？（予復習、テスト準備など、アドバイスのご記入下さい。）（下記授業の履修時期：2011年8月から2011年12月）

No.	コース名/教授名	時間数/週	留学先での単位数
1	Competitive Intelligent Resources/ Kimberly Bloedel	50分×2日間	1

何種類ものデータベースを使いこなせるようになるためのコースで、学生は私を含めた7人。単位数が少ないので、人気がないのかクラスのサイズはとても小さいですが、ビジネスを専攻するのであればこれは絶対に履修すべきコースです。データベースを使いこなせるか使いこなせないかで、その後のチームプロジェクト等の課題の出来が大きく左右されます。毎週の小テスト・課題あり。

2	Consumer Behavior/ Marry Huneke	75分×2日間	3
<p>消費者行動論のコースで、学生の数は20人強。アサインメント・リーディング・授業の厳しさ・内容、全ての要素が信じられないまでに厳しい。教授は留学生だろうがアメリカ人だろうが学生を同じように扱うので、授業中はアメリカ人と同等の貢献・パフォーマンスが求められる。私はこの授業のせいで月曜日と水曜日は3時間しか寝れていません。また、教授は学生の都合など考えない方なので、(教科書の発注ミスがあったにも関わらず、初日からがっつり講義・政治家の講演に出て、レポートを書くことを求められるが、授業があって出席できなかった学生への救済はなし…etc)。あまりにもさまざまなことが厳しいため、私は日本から日本で書かれた教科書を入手し、予習前に読むことにしています。</p>			

3	Introduction to Marketing Strategy/ Dave Collins	50分×3日間	3
<p>大講堂でのプロフェッサー授業が週に2回と、小グループでのチームプロジェクトを中心としたTAの指導が週1回ある。日本でマーケティングを学んだことのある学生であっても絶対にとるべきコース。Competitive Intelligent Resourcesのコースで学んだことが最も活きるコースです。ペーパー、プレゼン、プロジェクトに対するチーム内評価、抜き打ち試験などでグレードは構成されている。</p>			

4	International Marketing/ Patrick O' Leary	3時間×1日間	3
<p>インターナショナル・マーケティングのコース。教授が留学生に大変理解のある方で、試験中電子辞書の使用が認められる。クラスのサイズは30名弱ほど。和気藹々とした雰囲気のクラスで個人的には一番好きなコース。ただし、テキストが日本をフィーチャーすることが非常に多いので、自分の国に関する記述を見つけたら、質問を予測し、しっかり授業でクラスメイトたちに説明できるように準備しなければならない。先日は一日に8回当てられた。</p>			

5	ESL speaking / Matthew Garret	50分×3日間	3
<p>プレゼン・ディスカッションの訓練に重きがおかれたコース。ペーパー、アサインメント、プレゼン、クラスパーティシペイションで評価される。クラスのサイズは15名ほど。難易度は高くない。</p>			

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	金土日以外 毎日6時半に起床		18時までは 月曜日と同様	火曜日と同じ			
8:00		授業			起床		
9:00	授業				授業		
10:00	授業	帰宅・寝る			授業		
11:00	授業				授業	起床	起床
12:00	昼食・休憩				自由時間	昼食	昼食
13:00	予習	再び起きて 昼食			昼食	掃除・買い物	図書館で勉強
14:00					自由時間	図書館で勉強	
15:00		図書館で予習					
16:00	授業						
17:00							
18:00	チームプロジェクトのミーティング 夕食	夕食	授業		夕飯	夕食・帰宅	夕食
19:00	夕食	自由時間	授業		自由時間	自由時間	再び図書館で勉強
20:00			授業				
21:00			授業				
22:00	休憩		帰宅				帰宅
23:00			予習				
24:00	帰宅						

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

アメリカ留学というのは、不確実なこととの戦いだと感じています。初めの1か月は本当に地獄でした。行きのデルタの飛行機の中で、横柄な中国人2人に絡まれ、入国書類を奪われ、フライトアテンダントに助けを求めても、「人にもものを尋ねるときはプリーズをつける!」と言われました。通常旅行していてもほぼありえない接客にショックを受けたりと、最悪な17時間フライトで私の留学生活がスタートしたことも、今となっては笑えますが、つらい経験でした。

大学到着後は、覚えるべきことがたくさんあり、一週間という長さのオリエンテーションで日々膨大な量の情報を与えられ続け、情報の海におぼれそうになる中、something unexpected はほぼ毎日発生します。それがすぐ解決できれば問題ないのですが、そうもいかないことがほとんどです。たとえば、something unexpected が発生し、それを解決するためには次の日まで待たねばならないとなると、不安で本当にストレスがたまります。僕の場合は、履修登録したはずのコースがアクティブにされない、大学のEメールシステムがなぜか自分だけ使用不可能、教科書が届かない、銀行のカードが届かない、などなど数えきれないほどの問題を渡米直後に抱えました。

しかし、町のどこに何があるのか等、この町についての知識が増えるにつれて、また友達が増えるにつれて生活面での不安はどんどんなくなっていました。今現在、生活面では何も不安はありません。あるとすれば、昼夜の気温差が20℃を超えることもあるこの気候への対応への不安でしょうか。11月上旬の今、最低気温が氷点下になることは良くあります。

学習面におきましては、経験を積むにつれて授業中の発言のタイミング、効率的な予習の仕方など様々な面での改善を感じています。ただ、多くのビジネス専攻のアメリカ人の学生曰く、「交換留学生在が専門科目4つを履修し、ESLはたった一つというのはあまりに大変」とのことでした。ビジネス専攻と他の専攻では厳しさがあまりにも違います。次のセメスターでは、ESLを2つ取り、もう少しゆとりのある生活を送ろうと思っています。